

☆令和5年度 全国学力・学習状況調査について



4月18日、6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査については、その結果がすでに新聞・テレビ等で発表されました。個別の結果を返却させていただきます。

当日は、国語・算数の2科目を実施しました。いずれの教科でもそれぞれに基礎知識を問う問題と、活用力をみる問題が出題されました。また、子どもの学習や生活状況を調べる児童質問紙を4月26日にオンラインで行いました。その分析結果をお知らせし今後の学習に生かしていきたいと思えます。

○国語について

平均正答率は、全国・県平均を上回る結果でした。「漢字を文の中で正しく使う」「文章の種類とその特徴について理解している」「中心となる文を見つけて要約する」「話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える」内容の問題では、全国・県平均を大きく上回る結果でした。

一方で、「書くこと」の領域で少し課題が見られました。特に、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。」について課題がみられました。グループでの意見交換を行い、伝えたいことのポイントを確認するなどの活動を通して、相手がより理解できる文章になるように取り組んでいきます。また、理科・社会などでも表やグラフを活用しながら必要な力を伸ばしていきます。

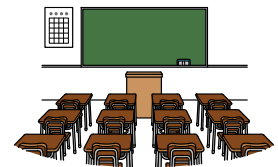
○算数について

平均正答率は、全国・県平均とほぼ同じ結果でした。

領域ごとに見ると、「数と計算」は全国・県平均とほぼ同じで、「変化と関係」「データの活用」の領域で全国平均を上回る結果となりました。

例えば、①比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる。②「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる。③棒グラフと複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。などです。

一方で「図形」の領域で課題が見られました。例えば、①台形・三角形の意味や性質について理解しているかどうかを見る問題、②高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断して、その理由を記述する問題です。「実物の図形を操作する活動を増やし、図形の意味や性質について、根拠を明らかにしながら説明する。」「実際に計算で面積を求めることで、底辺と高さがそれぞれ等しければ、三角形の面積は等しくなるということを考えさせる。」という活動を通して理解を深めていきます。



○児童質問紙について

生活面で「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」100%、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「先生はあなたの良いところを認めてくれますか」「友達関係に満足していますか」の質問に対して、90%以上の児童が「当てはまる」と回答しており、特に「自分にはよいところがあると思いますか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいですか」の質問に対しては、全国・県平均よりも高くなっていました。また、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」76%、「地域や社会をよくするために何かいてみたいと思いますか」86.5%と、全国・県平均よりも高く、地域と交流することで地域や社会をよりよくしたいという思いにつながっていると考えられます。

学習面では、「勉強が好きですか」の質問に対し「当てはまる」と答えた児童は、国語約40%、算数・英語58%でした。3教科について「学習は大切だと思いますか」の質問に「当てはまる」とした児童が、国語90%、算数92%、英語89%でした。国語・算数における書く問題について95%の児童が「最後まで回答を書こうと努力した」と粘り強く取り組む姿勢が身につけています。